

2023年Q1（第1四半期）の米国VC投資動向

NVCAのVenture Monitor（Q1 2023）に基づき、米国の2023 Q1（1-3月）のVC投資動向を概観する。

【総括】

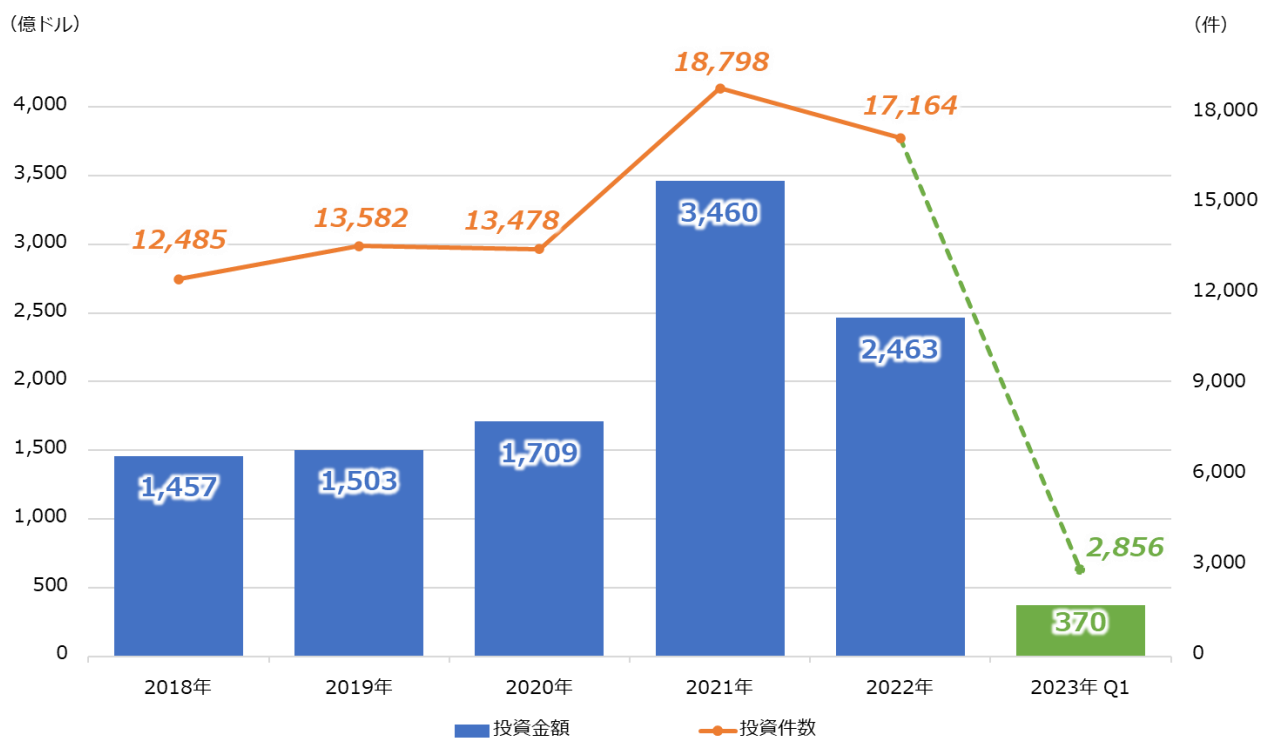
2022年なかばに始まったVC投資市場の低迷は、2023年に入ってより鮮明なものとなった。国際情勢は相変わらず不安定な状態が続き、米国のインフレ率は相変わらずの高止まりのなかで、銀行の破綻も相次いだ。その一方で、2023 Q1末の時点では、GDPや雇用統計、主要株価指数などのマクロ経済指標は良好であったものの、VC業界はかつての自信を回復するにはいたっていないようだ、Venture Monitorはみている。以下に示すとおり、米国のベンチャー投資に係る2023 Q1の主要な指標は、いずれもきわめて低水準といわざるをえず、今後の動向を注視していく必要がある。

1. VC投資

(1) 2023 Q1のVC投資は、金額・件数ともに低調

2023 Q1の投資金額は370億ドルと、前年（2022年）の年間投資額2,463億ドルに対し15.0%にとどまり、前々年（2021年）に記録した既往ピークの3,460億ドル対比では10.7%にすぎない。投資件数の2,856件も前年の年間投資件数17,164件に対し16.6%にとどまった（図表1）。

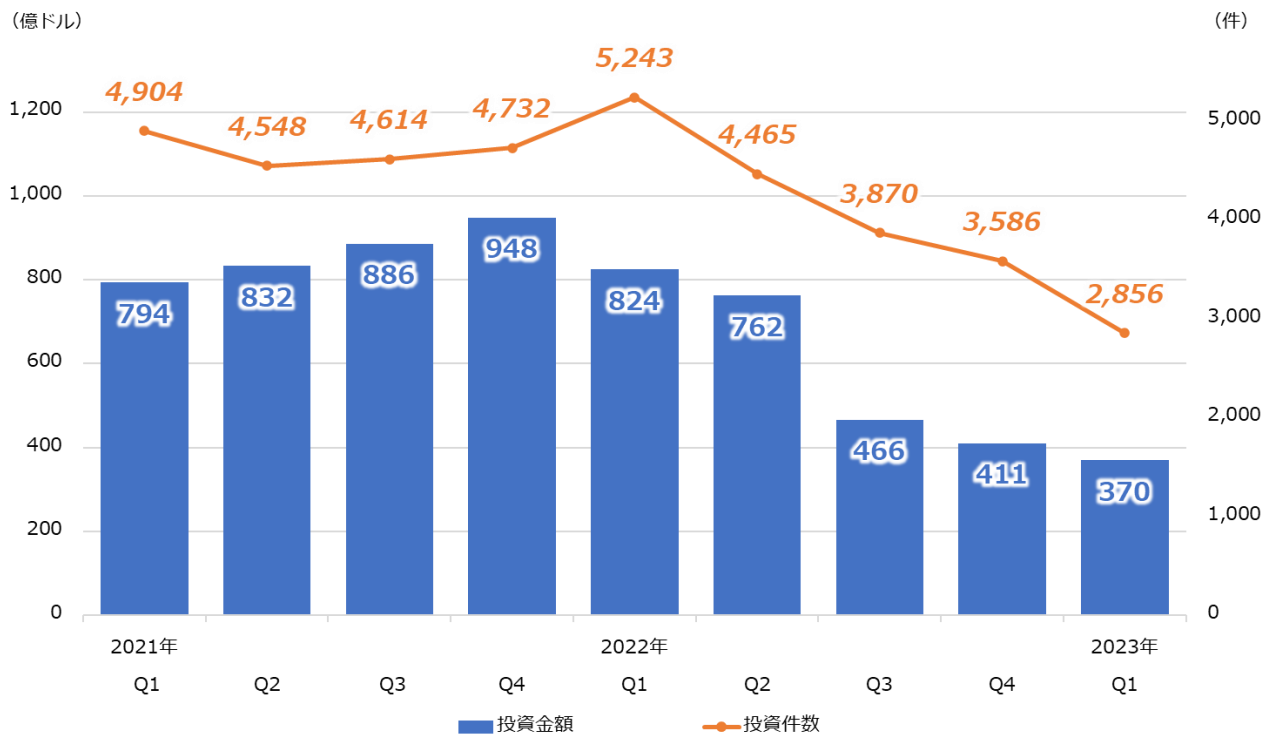
図表1 VC投資の推移（金額・件数）



(出所：Venture Monitor Q1 2023、VEC作成)

2021年以降のVC投資動向を四半期別にみると、2022年の前半から金額・件数ともに減少傾向が続いている。2023 Q1の投資金額370億ドルは2021 Q4の既往ピーク948億ドルから△61%の減、投資件数2,856件は2022 Q1の既往ピーク5,243件から△46%の減と、それぞれ大きく落ち込んでいる(図表2)。

図表2 四半期別VC投資推移(金額・件数)



(出所: Venture Monitor Q1 2023、VEC作成)

(2) ステージ別投資金額も、「ベンチャーグロース」を除き、低調に推移

2023 Q1の投資金額370億ドルをステージ別にみると、図表3に示すとおりである。

図表3 ステージ別VC投資金額(2023 Q1)

(億ドル)	
エンジェル/シード	33
アーリー	96
レイター	116
ベンチャーグロース(注1)	124
合計	370

(出所: Venture Monitor Q1 2023、VEC作成)

(注1) 「ベンチャーグロース」はステージの分類として、2022 Q4のVenture Monitorから新設され、主としてシリーズE以降のラウンドが対象

図表 4 に、2021 Q1 以降、四半期ごとのステージ別投資金額推移をまとめてみた。「エンジェル/シード」「アーリー」「レイター」のいずれのステージも、2021 Q3 ないし 2022 Q1 の各ステージのピークから大きく後退している。

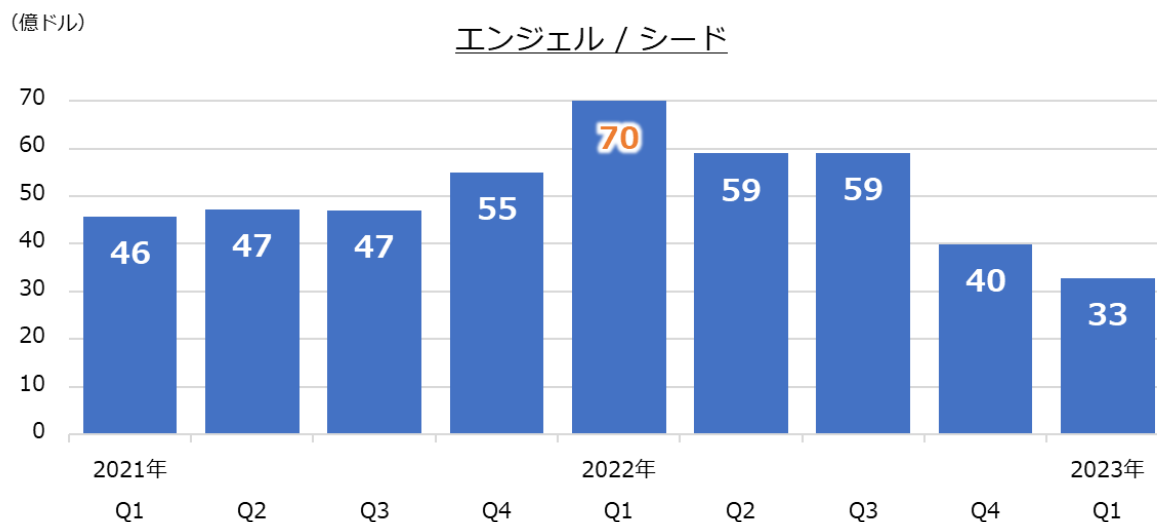
「エンジェル/シード」の 2023 Q1 の投資金額 33 億ドルは、2022 年通年の 228 億ドルの 11.9%にしか達していない。

同様に「アーリー」についても、2023 Q1 の投資金額 96 億ドルは、前年通年の 712 億ドルの 13.5%にとどまっている。

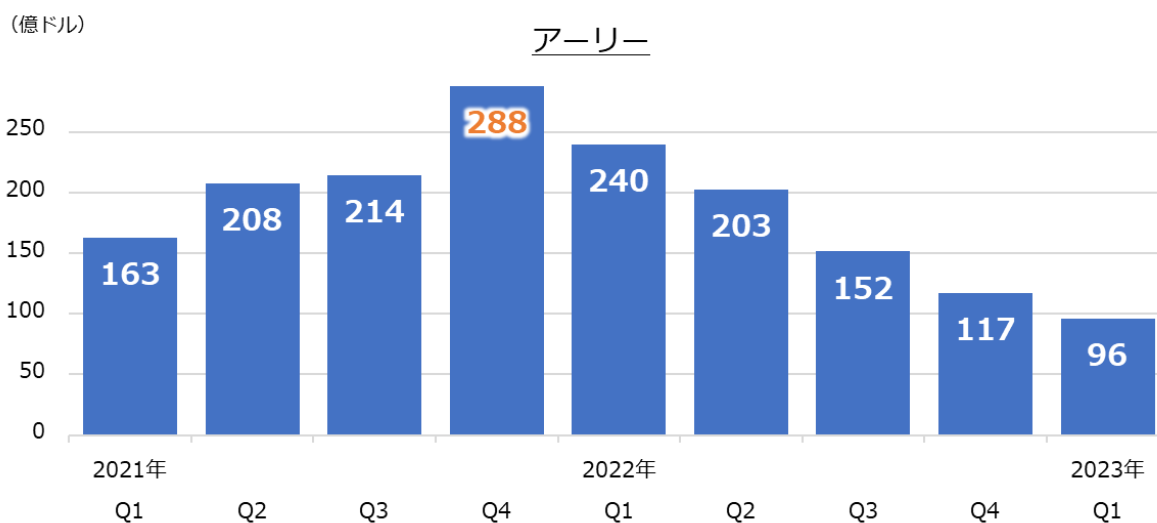
さらに、2023 Q1 の「レイター」への投資金額 116 億ドルは前年通年の 966 億ドルに対して、12.0%にとどまっており、四半期投資金額の既往ピークを記録した 2021 Q3 の 406 億ドルから 6 四半期連続で減少している。なお、「レイター」への四半期投資金額が 120 億ドルを下回るのは、2017 Q4 の 80 億ドル以来のことである。

一方、「ベンチャーグロス」の 2023 Q1 の投資金額 124 億ドルは、2022 Q3 から 2 四半期連続で増加しているが、Venture Monitor によれば、オンライン決済プラットフォームの大手である Stripe への 65 億ドルの大型投資が特殊要因だったとしている。

図表 4 四半期ごとのステージ別 VC 投資金額推移 (2021 Q1~2023 Q1)



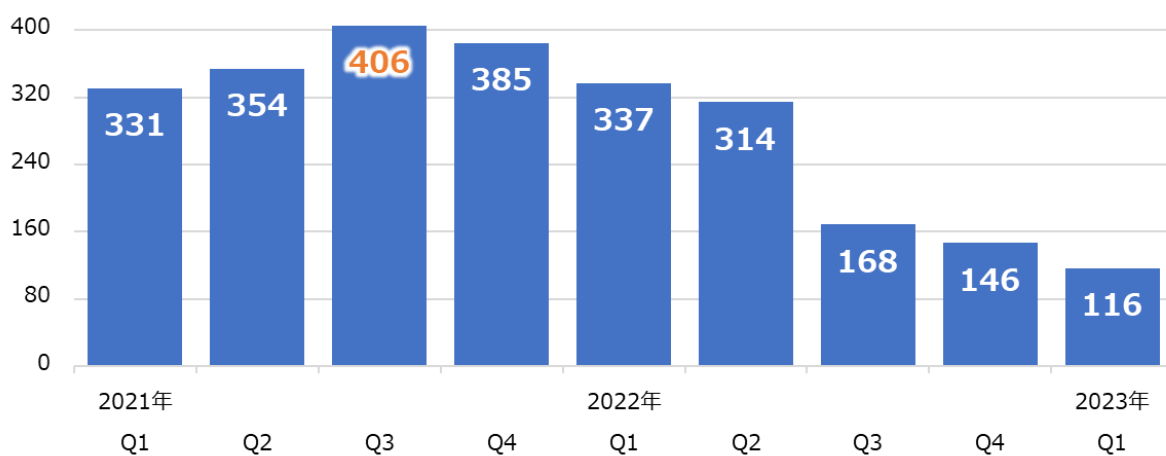
(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)



(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

(億ドル)

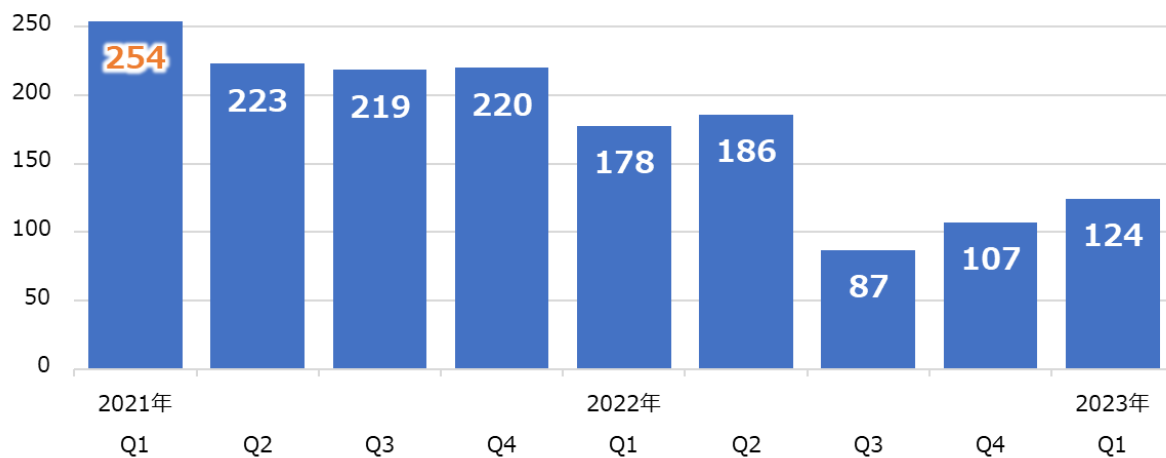
レイター



(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

(億ドル)

ベンチャーグロース

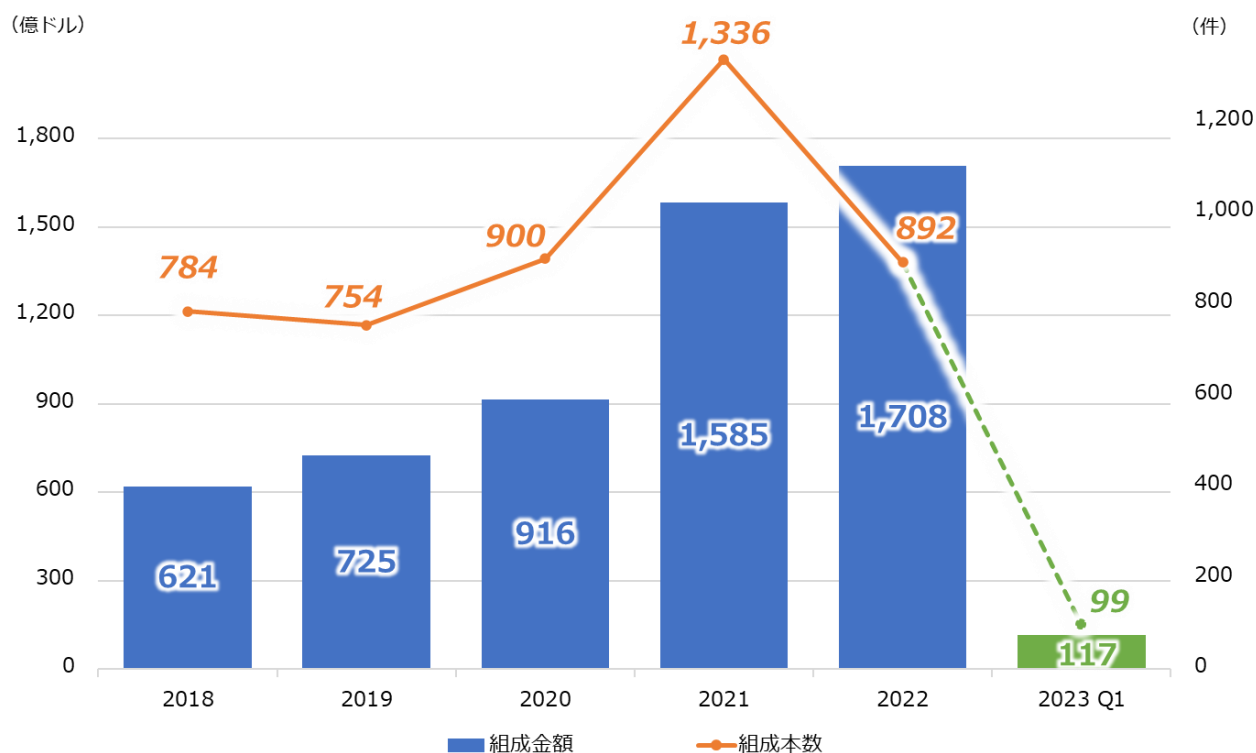


(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

2. VC ファンド組成

図表 5 に示すとおり、2023 Q1 のファンド組成金額は 117 億ドルと、2022 年通年の 1,708 億ドルのわずか 6.9%にすぎない。一方、ファンド組成本数も 99 本で、前年の 892 本の 11.1%にとどまっており、2021 年～2022 年の勢いはみられない。

図表 5 ファンド組成推移（金額・本数）



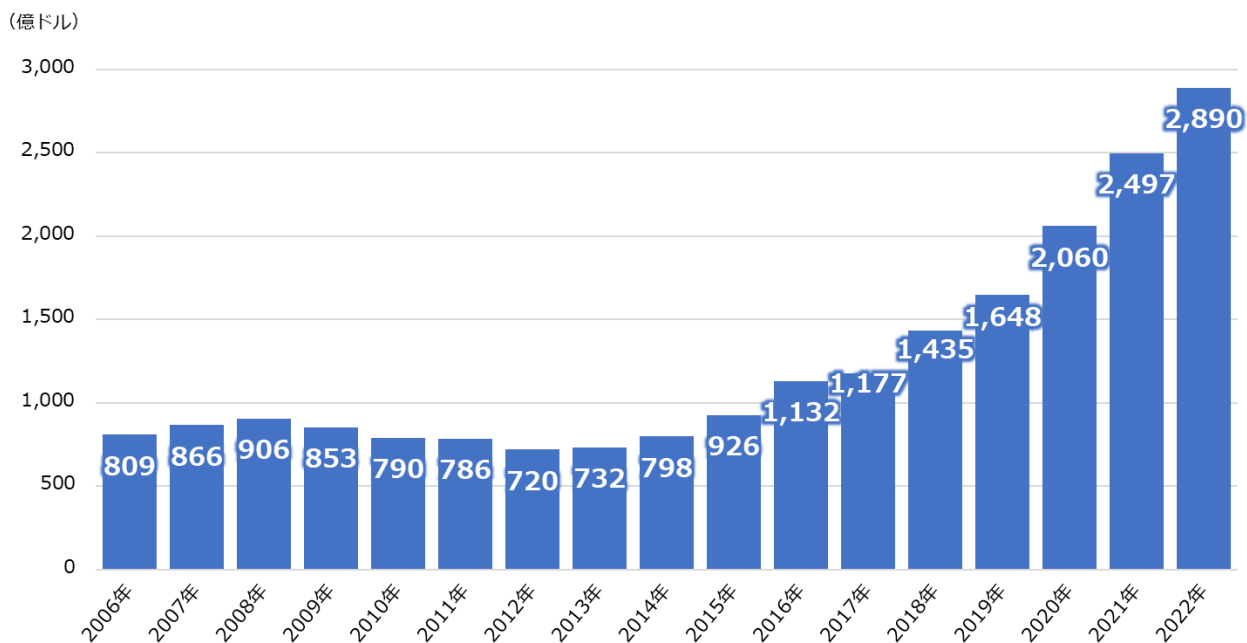
(出所：Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

Venture Monitor によれば、2023 Q1 のファンド組成額の 62.8%が 5 億ドル以上のコミットメントを有する 8 本のファンドで組成されており、こうした大型ファンドへの集中の傾向が続いているとしている。

一方、ドライパウダーの残高は2015年までは700億ドルから900億ドルのレンジで、ほぼ安定的に推移していたが、2016年以降、急速な伸びが継続しており、2022年末時点では2,890億ドルという記録的な水準に達している（図表6）。

この巨額なドライパウダーの存在は、将来のVC投資の原資となるものではあるが、Venture Monitorでは、2022 Q1から5四半期にわたる最近の投資活動の停滞や、2023 Q1のファンド組成の落ち込みによるドライパウダーの先行き減少見込みなどを勘案すると、巨額のドライパウダーが手元にあるからといって、楽観はできないとみている。

図表6 ドライパウダー推移（各年末時点の残高）



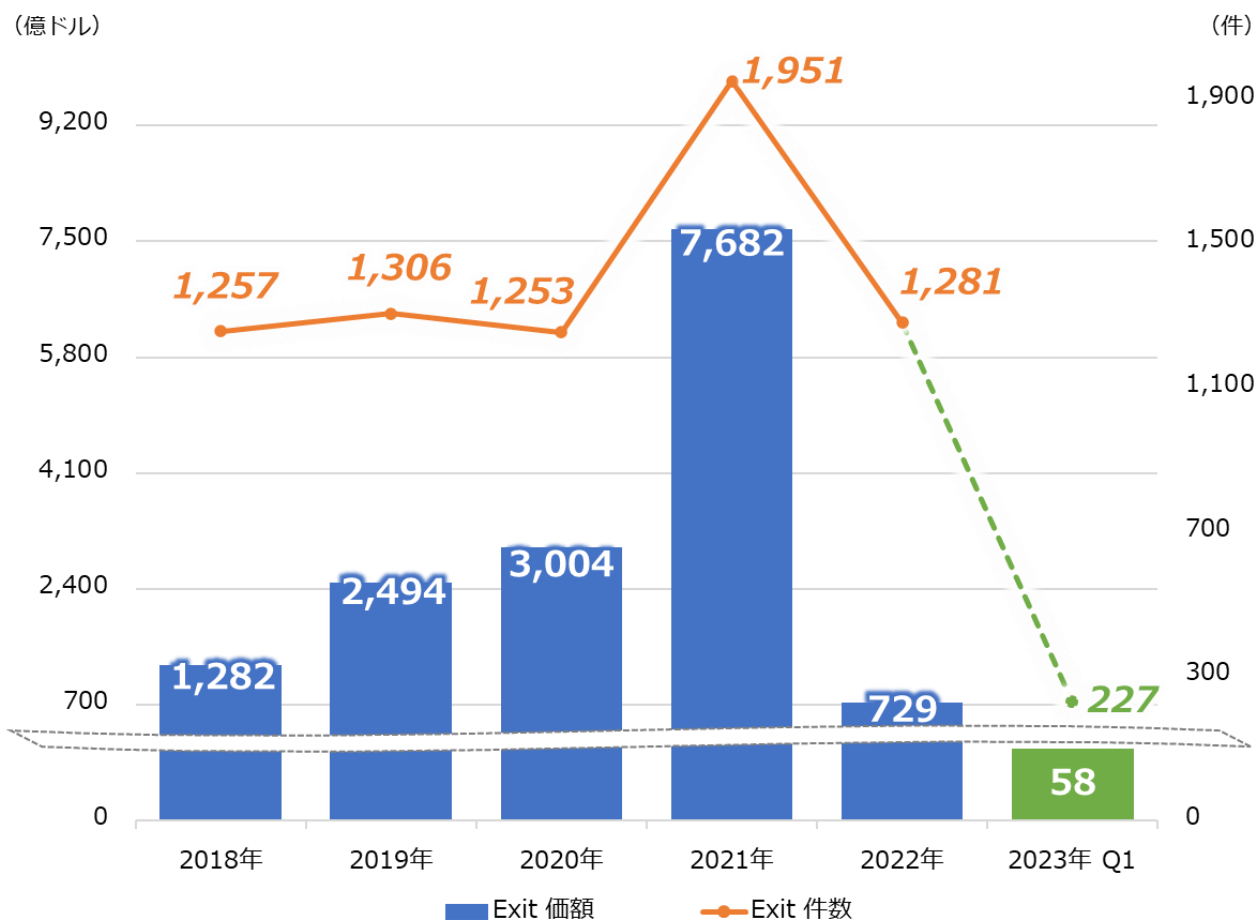
（出所：Venture Monitor Q1 2023、VEC作成）

3. VC 出資先企業の Exit

2023 Q1 の VC 出資先企業の Exit 価額^(注2) は 58 億ドルと、前年 (2022 年) 実績 729 億ドルのわずか 8.0%にとどまり、前々年 (2021 年) に記録した既往ピークの 7,682 億ドルとの対比では 0.8%にすぎない。Exit 件数の 227 件も前年実績 1,281 件に対し 17.7%にとどまった (図表 7)。

(注2) Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開 (IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む) 時のプレマネーバリュエーション額 (株式公開前の段階での企業価値)、及び②買収金額が開示された M&A 金額の合計

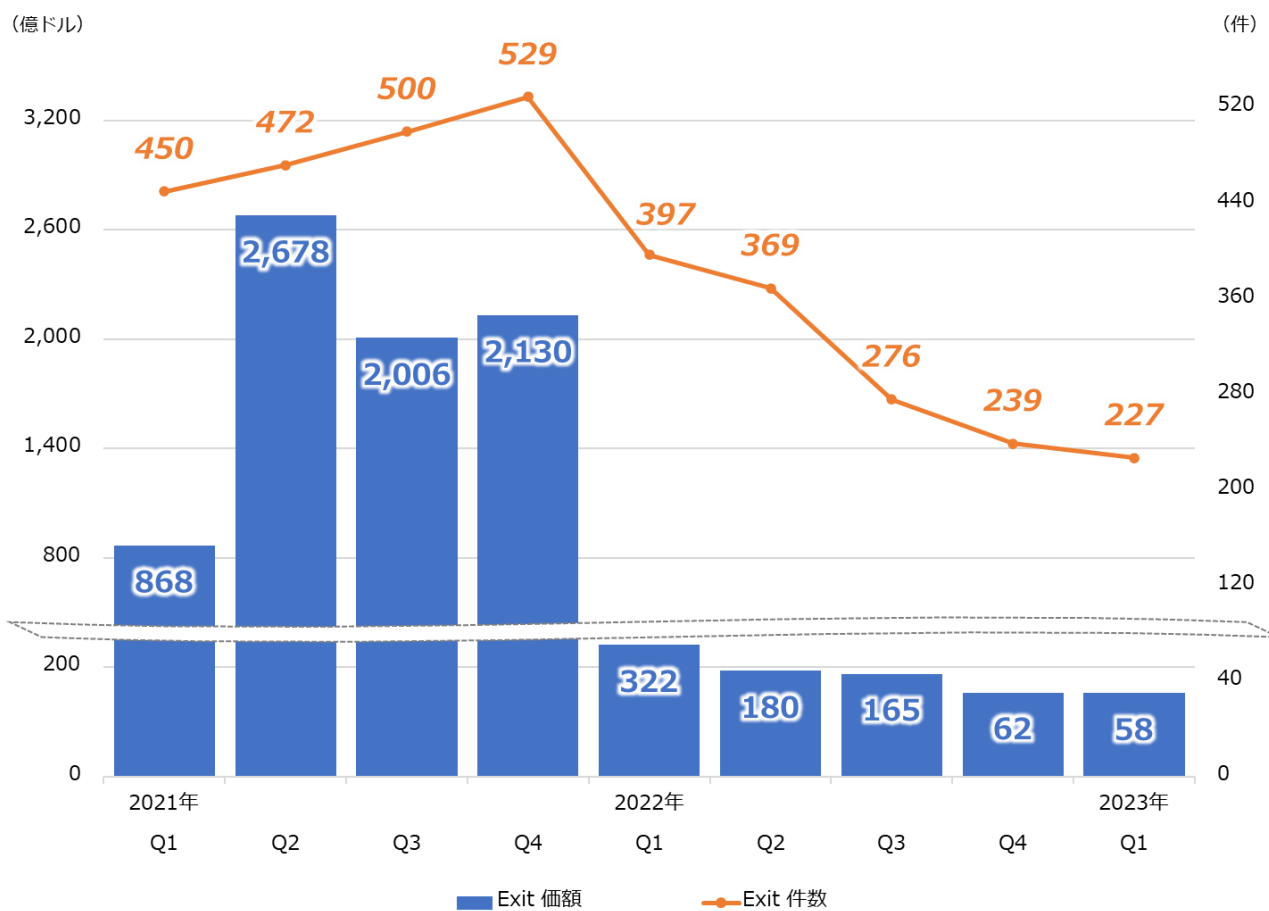
図表 7 Exit の推移 (価額・件数)



(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

最近の Exit 動向を四半期別にみると、2022 Q1 以降は、それまでの様相とは大きく異なり、金額・件数ともに大幅な減少傾向が続いている。2023 Q1 の Exit 価額 58 億ドルは 2021 Q2 の既往ピーク 2,678 億ドルの 2.2% にすぎない。Exit 件数 227 件も、2021 Q4 の既往ピーク 529 件の 42.9% にとどまっている (図表 8)。なお、2023 Q1 の 227 件は、2013 Q3 の 257 件以降の最少件数である。

図表 8 四半期別 Exit の推移 (2021 Q1~2023 Q1)



(出所 : Venture Monitor Q1 2023、VEC 作成)

以 上